

キリスト教主義大学における建学の精神

— 上智大学の取り組み、カトリックにおける良心 —

上智大学はカトリック修道会イエズス会が開設した大学です。大学の設立は1913年ですが、その起源は、日本に高等教育機関の設立を願ったフランシスコ・ザビエルにまで遡ります。現在、多様な背景を持った学生・教職員を擁する上智大学において、建学の理念や教育理念がどのように生かされ、どのような取り組みがなされているのかを講師から聞きながら、現代におけるキリスト教主義大学の課題や使命を共に考えていきたいと思えます。また、カトリックの伝統における「良心」についても理解を深め、プロテスタント的な理解と比較しながら、幅広く「良心」概念にアプローチしていきます。

入場無料・事前申込不要

● 日時：2019年7月5日（金）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：竹内 ^{おさむ}修一

（上智大学 神学部 教授）

司会：小原 克博（同志社大学 神学部 教授、
良心学研究センター長）

コメンテーター：

横井和彦（同志社大学 経済学部 教授、
キリスト教文化センター 所長）

中村信博（同志社女子大学 学芸学部 教授）



■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践— 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。